

---

---

## 来賓挨拶

厚生労働省大臣官房厚生科学課長

椎葉 茂樹

---

---

本日は第21回ヘルスリサーチフォーラム贈呈式にお招きいただき、またこのようなど挨拶の機会をいただきまして、お礼を申し上げたいと思います。

本日研究助成金の贈呈を受ける研究者の皆さまに心よりお喜びを申し上げますとともに、今後一層、それぞれの研究分野でのご活躍を期待申し上げます。

さて、本年度の基本テーマは『少子・長寿・多死—変容する社会に応えるヘルスリサーチ』ということですが、わが国におきましては、国民皆保険制度、優れた公衆衛生対策、高度な医療技術等の優れた保健医療システムの成果として、世界最高水準の平均寿命を達成し、人類誰もが願う長寿社会を現実のものとしたわけです。一方では、少子化による人口構造の変化につきまして、年金や医療、介護といったわが国の社会保障システムの根幹を揺るがしかねない深刻な状況にあると言えるのではないかと考えております。政府におきましては、世界に先駆けて超高齢社会を迎えつつある中、課題を解決する先進国として、国民誰もが健康な状態で実り豊かな生活を営むことができる社会の構築を目指して、本年7月に「健康・医療戦略」という閣議決定を行い、この閣議決定によって、健康長寿社会の実現に取り組むための基本的な方針を取りまとめたところです。この方針を踏まえて、今後政府としては医療分野の研究開発につき、基礎的研究段階から実用化まで切れ目ない支援を行って参りたいと考えているところです。

このような中で、一人一人のQOLの向上を目的として、自然科学、社会科学の成果を基に、変化する社会において、全ての人々が最適なケアを享受できるための仕組みを研究されているヘルスリサーチという分野につきましては、非常に重要な役割を担われていると認識しているところです。わが国が目指すべき将来である健康長寿社会の実現のために、今後とも皆さま方のご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、ファイザーヘルスリサーチ振興財団のますますのご発展と、本日の皆さま方の更なるご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。